



2024年12月20日

各位

会社名 クオインタムソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長
Francis Bing Rong Zhou
(コード番号 2338 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画部 趙 完皓
TEL 03-4579-4059 (代表)

(開示事項の経過) 2024年2月15日付開示 NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの 販売の中止に関するお知らせ

当社では、2023年10月12日付開示資料「当社が取り扱う NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの販売に関するお知らせ」にて、日本においてグローバルネットサービスを提供する中国系大手 Net 運営会社（以下「エンドユーザー」といいます。）との NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの販売（本販売契約に係る売上高は約1,680百万円）契約を締結していたとお知らせした後に、2024年1月12日付開示資料「（開示事項の経過）当社が取り扱う NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの販売に関するお知らせ」にて、エンドユーザーとの間で販売契約の主要な条件は口頭での合意形成がなされて確定しているものの、納品日はまだ未確定であり、かつ、エンドユーザーからの申し出により契約書の調印を延期していることをお知らせしておりました。

また、当社では、2024年1月31日付開示資料「（開示事項の経過）NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの販売契約書への販売先による調印に関する経過について」にて、2024年1月31日時点でもエンドユーザーの事務手続き上の事情から販売契約書への調印を得られていないことをお知らせするとともに、当社の当時の営業担当が、エンドユーザーの部長級の方に対して販売契約書の調印に関して面談のうえ、確認を行った結果、書面での合意は得られていないものの口頭合意にて2024年2月15日付にて調印することとなったことをお知らせしておりました。

そして、2024年2月15日付開示資料「（開示事項の経過）2023年10月12日付開示 NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの販売に係る販売先変更のお知らせ」にて、エンドユーザーとの交渉において本販売取引について2024年2月期中の売上計上を見送ることとしたことのお知らせをしておりました。

その後の経過をお伝えしますと、エンドユーザーとの GPU 搭載サーバー販売に関する協議は引き続き行われておりましたが、当社の AI ソリューション事業において、急成長する AI 技術の需要に応えるため、新たに「AI DC（AI データセンター）事業」を立ち上げたことから、本日開催した取締役会にて、エンドユーザーへの GPU 搭載サーバー販売に関する協議を打ち切り、AI DC 事業に経営資源を集中することを決定しました。

なお、エンドユーザーとは前述の通り、書面による販売契約の合意は無く、本件協議の打ち切りに関して書面にて協議の終了に関する合意書を作成する予定はありません。

本販売取引の2025年2月期の業績に与える影響に関しては、2024年10月10日付開示資料「2025年2月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」の定性的情報において「GPUサーバーの販売見込みにつきまして、日系データセンター事業会社向けで42百万円と、中国系大手 Net 運営会社

向けで44百万円の2つ（合計86百万円の売上計上見込）については、直近で6月28日時点では2025年2月期第2四半期会計期間での売上計上を見込んでいたものの、世界情勢や取引先企業の状況変化に伴い、取引内容の見直しが必要となったという理由から実現しておりません。なお、当該2つの案件の売上計上時期は2025年2月期第4四半期を予定しております。」と記載しておりました。

また、2024年10月10日付開示資料「2025年2月期第2四半期（中間期）連結業績の予想値と実績値との差異に関するお知らせ」において、「GPUサーバー販売事業の2025年2月期第2四半期会計期間において売上計上を見込んでいた取引の売上計上予定時期が2025年2月期第4四半期に期ずれする」と記載しておりました。

今回の販売取引の協議の打ち切りに伴って、エンドユーザー向け販売で見込んでいた44百万円（上記の「2025年2月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」において「中国系大手Net運営会社向けで44百万円」と記載していた販売取引）の売上計上が消失しました。

なお、2024年6月28日付開示資料「2025年2月期の第2四半期連結業績予想数値及び通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」にて公表した通期連結業績予想の修正に関しては現在精査中となります。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速みやかにお知らせいたします。

(参考：当社のサーバー販売の状況一覧)

※本開示資料で示す本取引の変更内容は太枠で囲った箇所であり、変更点は下線表示で示しております。

販売先	エンドユーザー (A)	FUTURANEX TECHNOLOGY CO., LIMITED
開示日	2023年10月12日	2023年10月23日
売上高	—	—
入金予定日	—	—
納品・検収 予定日	—	—
納品先	—	—
業績計上	—	—
特記事項	グローバル環境におけるエンドユーザーの調達方針の調整による遅延 なお、本案件はエンドユーザー (A) の在庫を右下のシンガポールの別のエンドユーザー (B) に振り向けました。 <u>その後引き続きエンドユーザー (A) と継続して協議をしておりましたが、2024年12月20日に打ち切り、取引を中止しました。</u>	2023年10月13日の販売契約締結以降、相手方からの発注がなく、商品確保のための手付金の請求をしておりませんでした。しかし今に至るまで入金がなく、取引を中止することになりました。なお、当該取引について、当期(2025年2月期)通期連結業績予想数値に含めておりません。

販売先	MEGA Limited	シンガポールの別のエンドユーザー (B) (2023年10月12日付開示の販売変更先)
開示日	2024年1月15日	2024年3月6日
売上高	436百万円	—
入金予定日	1回目:2024年3月4日に10,079,975USDが着金済 2回目:5月9日に19,499,975USDが着金済 3回目:9月2日に839,991USDが着金済。	—
納品・検収 予定日	1回目:2024年3月13日に完了 2回目:2024年5月21日に完了 3回目:2024年8月30日に完了	—
納品先	1回目:米国サンフランシスコの日本通運の営業所 2回目:シンガポールのチャンギ空港の貨物ターミナルにあるシンガポールの別のエンドユーザー (B) の倉庫 3回目:同上	—
業績計上	2025年2月期	—
特記事項	2024年1月15日開示における本件販売に関して全て完了しております。	本件販売に伴い2025年2月期において349百万円(監査法人と協議した結果、純額扱いとします。)の売上を見込んでおりましたが、当該売上の見込みはなくなりました。

以上